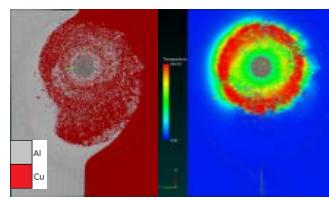


## 金属の中身を可視化する

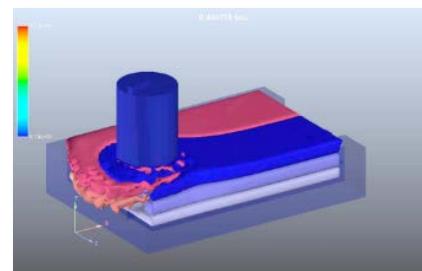
コンピューターの中で物質を再現することで、実験だけでは分からぬ情報を得ようとする研究を行っています。主に、界面における原子や電子の状態を対象としています。例えば、アルミ合金中の水素がどこにいるのか？がわかれれば、その脆さ（脆性）が、アルミと銅を接合するときの最適な温度が解るようになります。



粒子分布と温度分布 上面図



粒子分布と温度分布 断面図



粒子法による  
摩擦攪拌接合シミュレーション

**キーワード** 計算材料学、コンピュータシミュレーション

**分 野** 計算材料学、塑性加工学